

現場実習指導者研修を終えて

現場実習検討委員会



社会福祉士養成実習施設に医療現場が追加されたことで、県協会は、指導者養成の必要性を認識し、平成19年6月～9月の期間で「現場実習指導者研修」を実施しました。

酷暑の中にも関わらず、33名の皆さんが受講されましたが、受講生の方々からは、実習生教育への熱意と実践力の向上

に対する情熱が大いに伝わってきました。

残念ながら、業務の都合などもあり、最終的に修了された方は、18名でしたが、日々の努力の成果です。以下に受講された方々の声をご紹介します。

Aさん「実践の視点と指導者としての視点の2つを学びました。各講義の中で、グループワークやロールプレイを取り入れてくれたので、学んだことが身についたと実感しています。ただ、計6回、3ヶ月にわたる研修でしたので、体調管理が大変であったことと、各講義のレポートを書く作業に苦しみました。しかし、得るものは、大きかったと思います。」

Bさん「実践力が身についたと思います。また、指導者としては、伝える難しさを学びました。3ヶ月にわたる研修でしたので、体力的にも集中力的にも大変でしたが、ロールプレイなどによって教える側と教えられる側の両面を学ぶことができました。同じ目標に向かい受講者と学び、問題を共有することができたことが学ぶ楽しさにつながったと思います。」

Cさん「最終的には修了できませんでしたが、実践的な能力の向上に役立ったと思います。また、実習指導の方法も理解することができましたが、教える難しさも同時に学び、スーパーバイザーになるまでは、まだまだ時間がかかると感じました。大変でしたが、意欲的に学ぶことができたのは、内容の深い講義を提供してくださった先生方のおかげです。」



大リーガーの松井秀喜は、著書『不動心』の中で「努力できることが才能である」と告げています。講師も受講生も学び続けることの大切さを体験できた研修であったと思います。

夏期研修のお誘い

平成19年度 第2回定例研修会のお知らせ

日時； 平成19年9月29日（土）

場所； 別府リハビリテーションセンター 会議室

参加費用； 3000円（当日昼食は別）

講師； 岩間 伸之 先生

講義； 「援助を深めるための事例研究の方法」



（岩間伸之先生プロフィール）

同志社大学大学院文学研究科社会福祉学専攻博士課程後期修了
大阪市立大学生活科学部人間福祉学科、同大学院生活科学研究科で
教鞭を執る

専門分野： 社会福祉学／ソーシャルワーク論

ジェネラリスト・ソーシャルワークの体系・ソーシャルワークの固有性
ソーシャルワークと権利擁護についての研究を行う。

* ソーシャルワークの研究の他、特定非営利活動法人「西成後見の会」代表理事、大阪府内・市内の
地域福祉活動推進に関する専門委員として活躍している。

著書

『援助を深める事例研究の方法－対人援助のためのケースカンファレンス－（第2版）』

ミネルヴァ書房 2005年

『グループワークの専門技術』 岩間伸之・黒木保博・横山穰・水野良也 共著

中央法規出版 2001年

…他多数

日頃の業務が忙しいため、なかなか事例検討を行う機会を作りにくく、効果的な検討のあり方が見えない
方も多いのではないのでしょうか？

そんな皆さんへ研修部が自信を持ってお勧めできる研修です。

会員の皆様の多くのご参加をお待ちしています。

第44回九州医療社会事業研修会 さが大会のご案内

事務局便り



先般ご案内のとおり、来る11月23日・24日に、佐賀県での大会が開催されます。

参加の申し込みをされた方は、事務局へご一報下さい。

事務局でレンタカー・宿泊予約の手配をする予定です。

往復・宿泊について、同行のご希望のかたは、事務局までご連絡をお願いします。

※申込は事前申込のため9月1日で〆切となっております。

詳細に関しては、協会ホームページにも掲示しております。

（画像引用：大阪市立大学大学院生活科学研究科 <http://www.life.osaka-cu.ac.jp/>
佐賀市ホームページ <http://www.city.saga.lg.jp/>）

歴史編纂部よりご協力をお願い

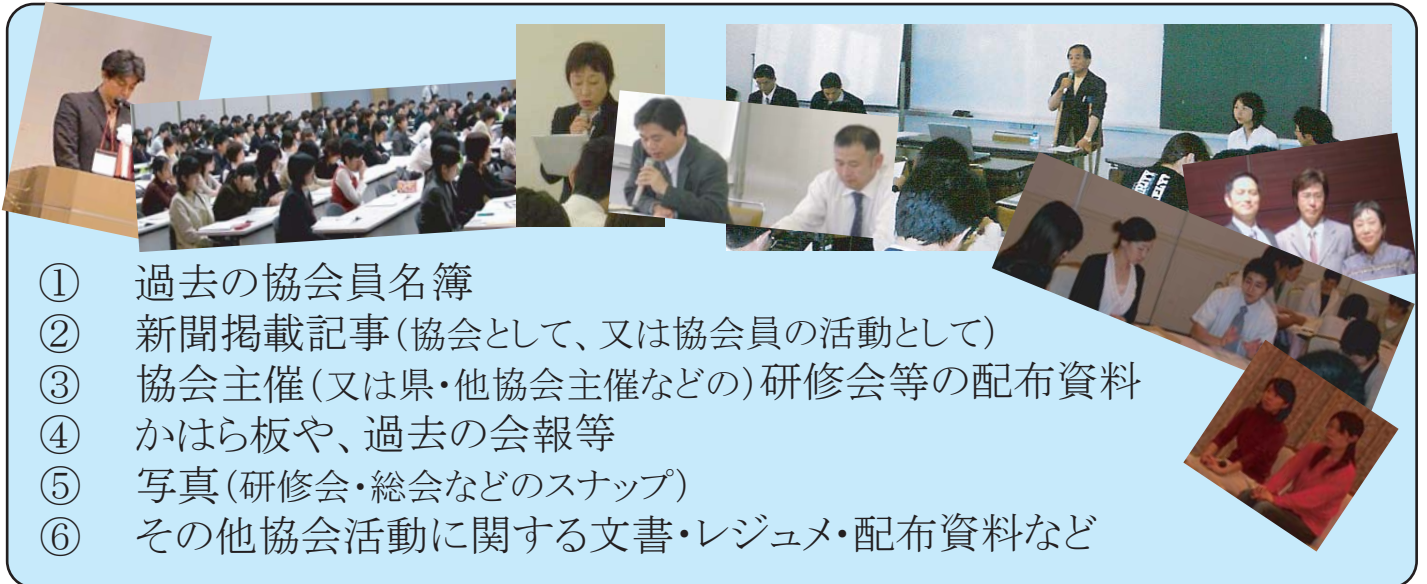
歴史編纂部からみなさまへご協力をお願いします。

大分県医療ソーシャルワーカー協会は平成20年度に“協会創立50周年”を迎えます。歴史編纂部は“協会創立50周年”に向けて記念誌発刊の準備を行っており、内容・レイアウト等について検討を開始しましたが、この段階で既に大きな問題が…。はい。過去の資料があまりにも少ない！！

協会の前身である「大分県医療社会事業協会」結成が昭和35年(1960年)、以後脈々と継続した協会活動がなされていたと思われませんが、残念ながら協会としての過去の資料蓄積が充分とはいえない状況です。記念誌の内容として、会員数の推移や研修会の風景、会報などによるその当時の活動内容や医療福祉の動向などを振り返りたいと考えていますが、資料不足のため検討も困難な状況です。

歴史編纂部としましては皆様から過去の協会活動に関する資料をお借りし、それをもとに記念誌のレイアウト等について内容を具体的に検討したいと考えております。

つきましては、以下の内容その他に関する資料をお持ちの方がおられましたら、貸出しにご協力をお願い致します。



- ① 過去の協会員名簿
- ② 新聞掲載記事(協会として、又は協会員の活動として)
- ③ 協会主催(又は県・他協会主催などの)研修会等の配布資料
- ④ かはら板や、過去の会報等
- ⑤ 写真(研修会・総会などのスナップ)
- ⑥ その他協会活動に関する文書・レジュメ・配布資料など

資料(紙)の変色や痛みその他は問いません。

お借りした資料につきましては、歴史編纂部が責任を持って個別に管理の上、PDFファイルその他各種媒体にて保存させて頂いた後にみなさまへお返し致します。

ご協力頂ける方は下記連絡先までご一報下さい。

内容の充実した記念誌発刊のため、是非みなさまのお力をお貸しください！！！！

【連絡先】

新別府病院 医療福祉相談室

MSW: 甲斐 亮太

電話: 0977-22-0391(代表)

FAX: 0977-21-0739

E-mail: msw-r.kai@shinbeppu-hosp.jp

※ 歴史編纂部員も募集中です(現在部長含め3名)、興味のある方ご一報を！

がんばるみんなの

職場紹介

医療法人 帰蔽会

岡本病院

豊後大野市初 回復期リハビリテーション病棟 開設

平成19年10月1日より、本格的に開設となります。



脳血管疾患や大腿骨頸部骨折等で、急性期の医療を要する時期が終了した後のADL向上と家庭復帰を目的とした集中的なリハビリテーションを提供致します。

従来の「機能訓練中心のリハ」から、入院生活全般を含めた非常に高度なリハビリテーションアプローチを行う病棟です。(最長6ヶ月、入院をしながらのリハビリに専念いただけます)

専従のDr.・Ns・PT・OT・ST・MSW達が共同で個人にあったプログラムを作成し、それに基づいた「自立を目指したリハビリテーション」を病棟を中心として行っています。



訓練室での機能訓練のみではなく、退院後の自宅での「より室の高い生活の構築」を重点的に考え、病室、病棟での活動性の向上を目指したリハビリテーションサービスを実施致します。



回復期リハビリテーション病棟には、専任MSWが常駐しています。介護保険をはじめとした患者様からのご相談に、素早く対応いたします。

患者様の入退院の調整や、他医療機関等との連携を行い、スムーズな患者様の在宅復帰ができるよう、支援を行っていきます。

竹田・豊肥地区では初めての回復期リハビリテーション病棟であり、地域の人へ、「よいリハビリ」を提供できる体制づくりを行い、患者様に「入院してよかった」と思えるサービスの提供を行っていきます。

(文:岡本病院MSW 川野)



お問い合わせ先

医療法人帰蔽会 岡本病院

TEL 0974-22-0018 Fax 0974-22-0990

MSW 川野・楠本 リハビリ科長 石丸

大分MSW協会 会費納入のお願い

協会の活動は会員みんなの会費で支えられています。

大分銀行 戸次支店 普通預金 5184405

「大分県医療ソーシャルワーカー協会」

※納付済/未納の確認は事務局へお気軽にお問い合わせ下さい。

職場紹介

を行う医療関連・介護関連・その他施設の方を募集しています。職場のPRになるのはもちろん、紹介する人・かはら版を見る人が、お互いにMSWの業務等について知識を深められるよい機会と思います。

広報部から突然依頼を行うことも多いのですが、是非「我こそは」という方、大歓迎です。お気軽に広報部へお問い合わせ下さい。場所によっては取材も行います。(広報部・佐保)